

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	公園緑地課	職	次長兼課長	氏名	田村 功司
評価者	組織	公園緑地課	職	課長	氏名	藤村 秀人

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	兼六園周辺文化の森の保全と整備	兼六園・金沢城公園の入園者数	千人	5,875 (R2)	4,875 (R1)	2,227 (R2)	D

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
						(年度)	(年度)						
施策1	課題1	兼六園・金沢城公園の利活用の推進	兼六園・金沢城公園の入園者数	千人	5,875 (R2)	4,875 (R1)	2,227 (R2)	城と庭の魅力発信事業費	県民	26,881	16,161	—	継続

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 城と庭の魅力発信事業費	事業開始年度	H14	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	都市公園法		

作	組	織	公園緑地課		
成	職・氏名	金沢城・兼六園周辺整備G 課長補佐 山口順也			
者	電話番号	076 - 225 - 1774 内線 5264			

1 事業目的	「学習」「案内」「もてなし」の三本柱により金沢城公園と兼六園の魅力を国内外に発信する。
2 事業概要	<p>キャッシュレス決済の対応、夜の魅力アップとして鶴の丸休憩館でのミニコンサート、兼六園の夜間開園など、新幹線開業後に増加している国内外の観光客への更なるサービスの向上に努める。</p> <p>【学習事業】 ・継続 「城と庭の探求講座」 全10回開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、募集人数を縮小</p> <p>【案内事業】 ・継続 玉泉院丸案内所にボランティアガイドを常駐 ・〃 重要文化財「石川門」「金沢城土蔵(鶴丸倉庫)」の特別公開(土日等) 年間62日 ・〃 重要文化財「三十間長屋」の特別公開(行楽期) 年間18日 ・〃 ボランティアガイド(7人/日)、外国人向けガイド(3人/日)の常駐 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4月上旬～7月中旬にかけて事業を休止</p> <p>【もてなし事業】 ・継続 夏 お抹茶体験(金沢城公園) ・〃 秋 花壇・花飾りによるおもてなし(金沢城公園) ・〃 秋 ライトアップツアー(11月の四季物語実施日)(金沢城公園) ・〃 冬 鷹匠による放鷹術の実演、スタンプラリー(金沢城公園) ※新型コロナウイルス感染症の影響により、春のもてなし事業や四季を通じて実施している四季の花巡りツアー中止</p> <p>【鶴の丸休憩館利用促進事業】 ・継続 四季 鶴の丸イブニングライブ(金沢城公園) 7回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、回数を縮小</p>

施策・課題の状況						
施策	兼六園周辺文化の森の保全と整備				評価	D
課題	兼六園・金沢城公園の利活用の推進					
	指標	兼六園・金沢城公園入園者数			単位	千人
	目標値	現状値				
	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	5,875	5,178	5,063	4,951	4,875	2,227
事業費						
	(単位:千円)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費	予算	16,128	26,881	26,881	26,881	26,881
	決算	16,128	20,403	21,077	25,501	16,161
一般	予算					
財源	決算					
事業費累計		109,955	130,358	151,435	176,936	193,097
評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
	事業の有効性	—	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により、一部事業を中止、縮小するなどした結果、四季の魅力等を体験する機会や金沢城公園・兼六園の魅力発信並びに観光客のより深い理解・満足につながる機会が大きく減少しており、事業の有効性についての評価が困難である。			
	(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)					
	今後の方向性	継続	金沢城公園・兼六園の多様な魅力を国内外に発信するため、引き続き、ホームページによる情報発信や探求講座を行う。また、重要文化財である「石川門」「三十間長屋」「金沢城土蔵(鶴丸倉庫)」の特別公開日の拡大や夜間ライトアップの通年化に伴い、ボランティアガイドを適切に配置し、金沢城への理解を深めてもらう機会を拡大するとともに、イブニングライブやライトアップツアーなど各事業のさらなる魅力アップを図る。			
	(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)					